

中学歴史プリント（過去問類似）

幕末・開国

名前

得点

/8

問1 18世紀後半以降、北方から日本へ接近した外国船への対応について述べた文として、正しいものを選んでください。（2017年 千葉県公立入試 類似）

1. 1792年、ロシアのラクスマンが漂流民を連れて根室に来航し、通商を求めた。
2. 1842年、異国船打払令を強化するために、幕府は江戸湾の沿岸警備を大名に厳命した。
3. 蛮社の獄の後、幕府はすぐに鎖国を解き、ロシアとの国交を正常化させた。
4. 清がアヘン戦争に勝利したことを受け、幕府は再び異国船打払令を厳格化した。

問2 江戸幕府が日米修好通商条約を締結し、横浜や神戸などの「開港場」を設けたことによる当時の社会への影響や背景について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2019年 奈良公立入試 類似）

1. 大老の井伊直弼が天皇の許可（勅許）を得ないまま調印したため、反対勢力による尊王攘夷運動が激しくなった。
2. 日本に関税自主権が認められていたため、安価な外国製品に高い関税をかけて国内の産業を保護した。
3. 開港場では外国人の居住や貿易が認められたが、日本側の裁判権が認められていたため、法的な混乱は生じなかった。
4. 貿易の開始によって国内の生糸が不足し、物価が下落したことで、庶民の生活は非常に豊かになった。

問3 18世紀後半にイギリスで始まった産業革命が社会に与えた影響について説明した文として、最も適切なものはどれか。（2017年 佐賀公立入試 類似）

1. 蒸気機関の利用により工場での大量生産が可能になり、資本家が労働者を雇う資本主義の仕組みが成立した。
2. 農地の囲い込みによって農業生産力が向上した結果、農村の人口が急増し、都市から農村への移住が盛んになった。
3. 機械化による失業を恐れた労働者たちが、絶対王政を打倒して共和制を樹立するための政治運動を全国で展開した。
4. 蒸気船や蒸気機関車などの交通機関が発達したが、物資の輸送コストが増大したため、国際的な貿易は一時的に衰退した。

問4 1859年の開港にともない始まった幕末の貿易において、1865年の日本の輸出総額は約1849万ドルに達しました。そのうちの約79.4%という圧倒的な割合を占め、主にイギリスなどへ輸出されていた当時の主要な輸出額1位の品目として正しいものを選びなさい。（2018年 富山県公立入試 類似）

1. 生糸
2. 茶
3. 綿糸
4. 絹織物

問5 19世紀半ば、イギリスはインドで生産したアヘンを清へ密輸することで、自国の貿易赤字を解消しようとしていました。これに対し、清がアヘンの没収や破棄といった厳しい取り締まりを行ったことがきっかけで発生した戦争を何といいますか。（2016年 高知公立入試 類似）

1. アヘン戦争
2. 辛亥革命
3. 甲午農民戦争
4. 名譽革命

問6 19世紀後半にプロイセン王国を中心に行われたドイツの統一について、その中心人物と統一の過程について述べた文として正しいものはどれですか。（2021年 歴史公立入試 類似）

1. 首相ビスマルクが「鉄血政策」と呼ばれる強力な軍備拡張を推進し、武力によって統一を成し遂げた。
2. ナポレオン1世がヨーロッパの広範囲を征服したことをきっかけに、各都市が自発的に統合して帝国となった。
3. 議会を中心とする話し合いによって、周辺諸国との平和的な話し合いを通じて全ドイツ連邦が統合された。
4. 蒸気機関の改良による産業革命の進展に伴い、経済的な利害の一致のみを理由として自然に統合された。

問7 幕末に広まった「尊王攘夷」という思想の内容について、その目的や背景を正しく説明したものはどれですか。（2020年 和歌山公立入試 類似）

1. 天皇を政治の中心に据えて敬うとともに、日本に迫る外国の勢力を武力で排除しようとする考え。
2. 朝廷と幕府が協力（合体）することで、国内の混乱を鎮めて政治を安定させようとする考え。
3. 日本古来の精神を大切に保持しながら、西洋の優れた科学技術だけを導入しようとする考え。
4. 西洋の進んだ制度や文化を積極的に取り入れ、日本の社会全体を急速に近代化させようとする考え。

問8 1858年の日米修好通商条約締結後、日本は開国して本格的に諸外国との貿易を開始しました。この貿易において、最大の輸出港となった横浜から大量に輸出された品物と、その輸出が国内経済に与えた影響について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2017年 徳島公立入試 類似）

1. 生糸が大量に輸出されたことにより、国内で品不足となり、物価が急激に上昇した。
2. 綿織物が大量に輸出されたことにより、国内の綿織物業が急速に発展し、農村が潤った。
3. 茶が大量に輸出されたことにより、国内で米の生産が放棄され、深刻な飢饉が発生した。
4. 金が大量に輸出されたことにより、国内の金銀比価が安定し、貨幣価値が高まった。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 1792年、ロシアのラクスマンが漂流民を連れて根室に来航し、通商を求めた。	ロシアは18世紀末から極東への関心を強め、ラクスマンが根室に来航したことで、長年続いてきた幕府の対外政策に揺さぶりをかけました。幕府はこれに対し、松前藩などの北方警備を強化するとともに、特定の港以外での交渉を拒否する姿勢を維持しました。その後の1825年には異国船打払令が出されるなど、当初は強硬な対応が主流となりました。
問2	答え 1 大老の井伊直弼が天皇の許可（勅許）を得ないまま調印したため、反対勢力による尊王攘夷運動が激しくなった。	日米修好通商条約は、大老の井伊直弼が孝明天皇の勅許を得ずに無断で調印したため、幕府への批判が高まり、尊王攘夷運動が激化する要因となりました。また、この条約は日本に関税自主権がなく、領事裁判権を認めるという不平等な内容であったほか、貿易の開始によって生糸などの物資が不足し、激しいインフレーション（物価高騰）を招いたのが実際の影響です。
問3	答え 1 蒸気機関の利用により工場での大量生産が可能になり、資本家が労働者を雇う資本主義の仕組みが成立した。	産業革命によって生産手段（工場や機械）を持つ資本家が、労働力を提供する労働者を雇って利益を追求する「資本主義」の仕組みが確立されました。一方で、都市への人口集中による居住環境の悪化や、低賃金・長時間労働といった労働問題も発生するようになりました。
問4	答え 1 生糸	開港直後の日本において、最大の輸出商品は生糸でした。当時、ヨーロッパでは蚕（かいこ）の病気が流行し生糸生産が打撃を受けていたこともあり、日本産の生糸に対する需要が非常に高まっていました。1865年の統計では輸出額の約8割近くを生糸が占めており、これに次ぐ約10.5%を占めた茶とともに、幕末の輸出の主役となりました。
問5	答え 1 アヘン戦争	イギリスは、清から輸入する茶の代金として支払っていた銀が大量に流出することを防ぐため、植民地であるインドからアヘンを清へ持ち込む「三角貿易」を行いました。清がこの密輸を禁止したことに対してイギリスが武力で応じたのがアヘン戦争です。この戦争の結果、清はイギリスに敗北して南京条約を結び、東アジアにおける伝統的な秩序が大きく揺らぐこととなりました。
問6	答え 1 首相ビスマルクが「鉄血政策」と呼ばれる強力な軍備拡張を推進し、武力によって統一を成し遂げた。	1862年にプロイセン王国の首相に就任したビスマルクは、ドイツの統一問題は言論ではなく「鉄（武器）と血（兵士）」によってのみ解決されると主張しました。この方針の下、プロイセンは軍備を増強し、デンマーク、オーストリア、そしてフランスとの戦争に勝利することで、1871年にドイツ帝国の成立を果たしました。
問7	答え 1 天皇を政治の中心に据えて敬うとともに、日本に迫る外国の勢力を武力で排除しようとする考え。	幕府が外国の圧力に屈して開国したことへの不満が、天皇を敬う心（尊王）と結びつき、外国勢力を追い出そう（攘夷）という激しい運動に発展しました。この思想は、単なる排外主義にとどまらず、次第に無力な幕府を倒して天皇を中心とした新しい国をつくらうとする「倒幕」のエネルギーへと変化していきました。後に初代内閣総理大臣となる伊藤博文も、若い頃はこの思想の影響を強く受けていました。
問8	答え 1 生糸が大量に輸出されたことにより、国内で品不足となり、物価が急激に上昇した。	開国後の日本において、生糸は最大の輸出商品となりました。しかし、生産が追いつかないほど大量に輸出されたことで、国内市場向けの生糸が不足しました。これにより、生糸を原料とする織物業が打撃を受けただけでなく、流通の混乱から全般的な物価上昇を招き、民衆の生活を圧迫しました。